

大切な税金の使い道

特集

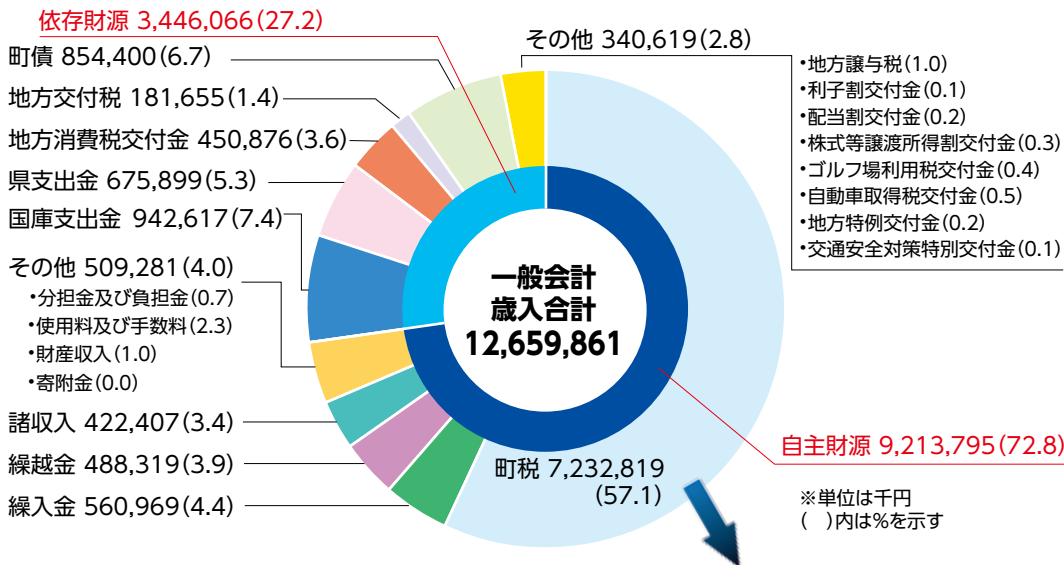
平成25年度決算

一般会計・特別会計・水道事業会計の

歳入総額は231億366万2千円

歳出総額は223億8,659万7千円

一般会計 歳入



平成25年度の一般会計・特別会計(国民健康保険・後期高齢者医療介護保険・下水道事業)・水道事業会計の決算が町議会の9月定例会で認定されました。町では限られた財源の中で、健康福祉と安全・安心、生活利便向上など町民生活に密着した各種施策・事業を積極的に展開しました。

企画画政策課財政班(内線) 3236

町債(借入金)の残高

普通債	総務債	100,344千円
	民生債	28,500千円
	衛生債	477,499千円
	土木債	1,264,555千円
	消防債	630,901千円
	教育債	289,120千円
	公営住宅債	177,597千円
	減税補てん債	500,453千円
臨時税収補てん債	62,486千円	
臨時財政対策債	3,402,384千円	
減収補てん債	511,159千円	
合計(前年度比)	7,444,998千円 (3.9%増)	

町税の内訳

町民税(個人)	2,032,820千円	(0.1%増)
町民税(法人)	739,240千円	(11.8%増)
固定資産税	3,629,990千円	(0.0%減)
軽自動車税	80,293千円	(2.3%増)
町たばこ税	361,273千円	(13.0%増)
都市計画税	389,203千円	(0.1%増)
合計	7,232,819千円	(1.7%増)

※()内は前年度比

町民1人当たり

納税額 178,346円 (3.3%増)
歳出額 298,058円 (3.0%増)

※()内は前年度比

1世帯当たり

納税額 447,936円 (2.5%増)
歳出額 748,605円 (2.2%増)

※()内は前年度比

町の主な財産

土地	5,884,132㎡
建物	130,015㎡
基金	11億1,587万1千円

一般会計

●歳入

一般会計の歳入総額は、126億5,986万1千円で、前年度より2億5,203万8千円の増額となりました。

歳入額を財源別にみると、町税、使用料及び手数料など町独自で得ることのできる自主財源が、前年度と比べ2.7%増の、92億1,379万5千円で、歳入総額の72.8%となりました。

また、国・県支出金や町債、地方交付税などの依存財源は、前年度と比べ0.2%増の、34億4,606万6千円で、歳入総額の27.2%となりました。

●歳出

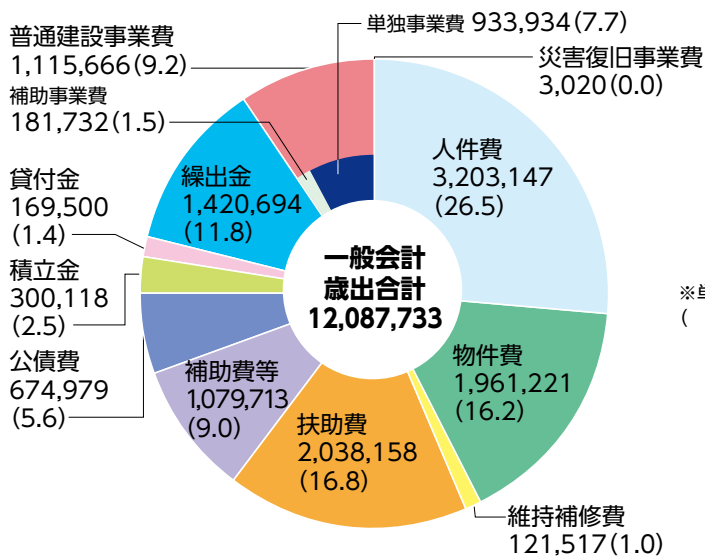
歳出総額は、120億8,773万3千円で、前年度より1億6,822万9千円の増額となりました。

歳出額を行政の目的別にみると、民生費が41億2,473万9千円と最も多く、全体の34.1%を占め、続いて衛生費16億7,016万3千円(13.8%)、総務費16億6,066万8千円(13.3%)の順となっています。

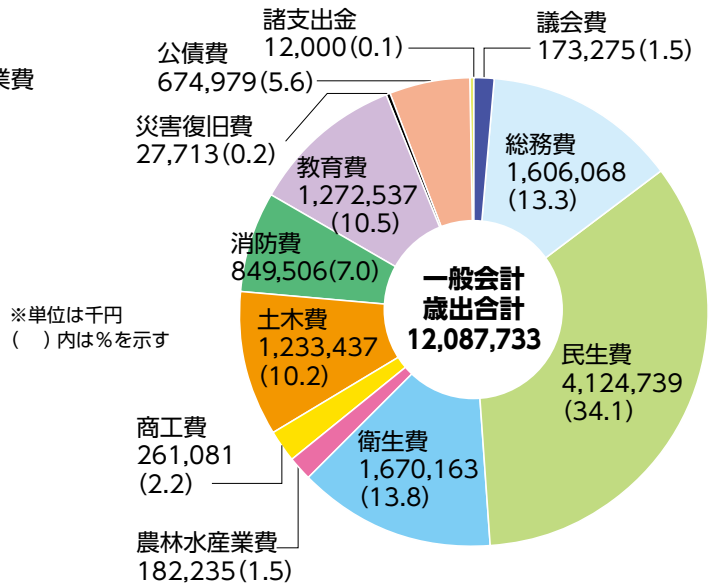
性質別では、障害者自立支援事業費の増などにより、扶助費が増となったものの、職員給与費の減による人件費の減や、町が借り入れた地方債の償還額である公債費が減となったことなどから、これらを合わせた、いわゆる義務的経費が、前年度より2.4%減の59億1,628万4千円となりました。

なお、実質収支額は5億4,796万5千円の黒字となり、翌年度への繰越金となりました。

歳出（性質別）



歳出（目的別）



指標	指標の説明	比率	基準値	
			早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	—	13.72%	20%
	連結実質赤字比率	—	18.72%	30%
	実質公債費比率	-2.5%	25%	35%
	将来負担比率	—	350%	
資金不足比率 (水道・下水道事業)	資金不足額(赤字額)の事業規模に対する比率	—	(経営健全化基準) 20%	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、すべての会計が黒字であるため「- (ハイフン)」となっています。また将来負担比率は、地方債残高などの将来負担額に対し、基金、都市計画税、基準財政需要額に算入される地方債などの充当可能な財源が上回っているため「- (ハイフン)」となっています。

※早期健全化基準・経営健全化基準は「財政の悪化 (イエローカード)」を、財政再生基準は「財政の破たん (レッドカード)」をあらわす基準値で、健全化判断比率・資金不足比率がこれらの基準値を超えた場合には、国からの健全化に向けた取り組みが指導されます。

財政健全化法に基づく健全化判断比率などの状況

「財政健全化法」とは、財政の健全さを計る左記の指標を導入し、再建の枠組みを定めた法律で、これまで対象から外れていた国民健康保険などの特別会計や事業会計、さらには土地開発公社などの会計もチェックされています。

本町の健全化判断比率などの状況は、全ての指数が基準を大きく下回っているため、財政の健全性が保たれています。

一般会計の主な実施事業

議会費 173,275 千円

- 議員調査活動経費(政務活動費交付金、議会基本条例に定める意見交換会開催経費など)……………2,872千円
- 議会運営経費(議会会議録データベース化事業、議会映像インターネット配信など)……………6,092千円

総務費 1,606,068 千円

- 町内循環バス運行事業費……………28,319千円
- 行政改革推進事業費……………258千円
- 協働のまちづくりの推進(あいかわ町民活動応援事業、町民活動サポートセンター運営事業など)……………4,712千円
- 交通安全対策費(道路反射鏡、区画線設置工事、小学校周辺通学路カラー舗装工事など)……………27,700千円
- 安全・安心まちづくり対策事業費(安全・安心まちづくりパトロール業務、防犯ブザーの配布、防犯灯の維持管理・整備など)……………38,370千円

民生費 4,124,739 千円

- 障害者生活援護事業費(障害者医療費助成、在宅重度障害者タクシー・自動車燃料費助成、障害者福祉計画策定業務など)……………196,424千円
- 障害者自立支援事業費(介護給付・訓練等給付、地域生活支援事業など)……………648,824千円
- 心身障害児・者訓練指導事業費(ひまわりの家・かえでの家運営業務など)……………82,284千円
- 高齢者バス割引乗車券購入費の助成……………12,272千円
- 小児医療費・ひとり親家庭等医療費助成……………152,493千円
- 子ども・子育て支援事業計画の策定……………805千円
- 子育て支援対策事業費(子育て支援センター等運営事業、おむつ支給、家賃助成など)……………26,682千円
- 児童手当支給事業費……………700,595千円

衛生費 1,670,163 千円

- 各種予防接種の実施(風しん・高齢者肺炎球菌予防接種費用の助成など)……………84,796千円
- 母子保健事業費(妊婦健康診査、妊婦歯科検診、未熟児訪問指導事業、不妊・不育症治療費助成の実施など)……………27,754千円
- 健康増進事業費(生活習慣病検診、健康体操教室の開催、口腔がん検診事業補助など)……………54,478千円
- 新保健センター(健康プラザ)建設事業費……………335,215千円
- 住宅用太陽光発電設備設置助成……………3,411千円
- 愛川聖苑の業務・施設維持管理経費……………88,083千円
- ごみ減量化・再資源化推進事業費……………32,837千円
- 厚木愛甲ごみ処理広域化推進事業費……………260,937千円



▲子育て支援センター



▲愛川にぎわいマルシェ

- ごみ処理施設の運転・維持管理経費……………235,487千円
- 塵芥収集車両購入事業費(ハイブリッド車購入)……………7,607千円

農林水産業費 182,235 千円

- 農業振興対策事業費(有害鳥獣対策事業、青年就農給付金など)……………20,366千円
- 農道・農業用水路整備事業費……………16,229千円
- 林業振興事業費(地域林業形成促進事業など)……………34,814千円

商工費 261,081 千円

- 商工振興対策事業費(街路灯管理事業補助、ISO等認証取得促進事業補助など)……………12,170千円
- 中小企業事業資金融資事業……………25,000千円
- 愛甲商工会活動事業補助(愛川にぎわいマルシェ開催経費補助など)……………8,608千円
- 観光振興対策事業費(ツーリズム推進事業など)……………4,548千円
- 勤労者生活資金融資事業……………31,500千円

土木費 1,233,437 千円

- 道路新設改良舗装事業費(幣山下平線整備事業など)……………386,298千円
- 橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費……………5,691千円
- 災害予防対策事業費(急傾斜地崩壊対策など)……………24,750千円
- 住民提案型協働事業(みずとみどりの青空博物館の機能を高める事業)……………111千円
- 第1号公園・田代運動公園・三増公園の管理経費など……………91,137千円

消防費 849,506 千円

- 消防救急デジタル無線整備事業費……………21,304千円
- 化学消防ポンプ自動車購入費……………56,564千円
- 土砂災害ハザードマップの作成……………391千円
- 住民提案型協働事業(地域密着型災害ボランティア養成講座の開催)……………79千円
- 防災資機材整備事業費(避難所対策用防災備蓄品購入など)……………8,135千円

教育費 1,272,537 千円

- 私立幼稚園就園奨励補助事業……………67,965千円
- 高等学校等就学助成事業費(通学、入学準備金の助成)……………8,020千円
- 小中学校施設整備事業費(トイレ洋式化など)……………94,146千円
- 小中学校情報教育推進事業費(中学校のパソコン更新)……………28,249千円
- 放課後児童クラブ事業費(町内全小学校)……………29,594千円
- 郷土資料館の管理・運営事業(ふるさと愛川写真展開催経費など)……………18,236千円
- 各種スポーツ行事開催事業費……………3,588千円



▲みずとみどりの青空博物館



▲化学消防ポンプ自動車

特別会計

歳入 95億6,870万7千円
歳出 94億3,856万7千円

●国民健康保険事業

町民の健康保持と増進のため保険給付を行い、医療保障の充実に努めました。

平成25年度の国民健康保険に加入している世帯は、町総世帯数の45.8%、被保険者は町総人口の35%です。

●後期高齢者医療事業

高齢者の健康保持と増進のため、被保険者の資格管理や医療給付金等の窓口事務を行い、医療費の適正化に努め、健全な医療給付を進めました。

●介護保険事業

適正な要介護認定を行うとともに、要介護・要支援者が能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう保険給付を行い、保健医療の向上と福祉の増進に努めました。

また、将来的に要介護・要支援状態になるおそれのある高齢者を対象に、介護予防を推進しました。

●下水道事業

污水整備事業として、馬渡橋架け替えにあわせ、污水管を橋に添架するための設計業務委託、さらには污水管の耐用年数の延伸を目的に「公共下水道長寿命化計画」の調査・策定などを行いました。

また、浸水対策事業として、半原・中津地区の雨水整備工事などを実施しました。

平成25年度末現在の下水道人口普及率は91.8%です。



歳出

会計名	決算額	対前年度比	
		増減額	増減率
国民健康保険	5,688,049千円	48,861千円	0.9%
後期高齢者医療	308,613千円	12,242千円	4.1%
介護保険	2,241,489千円	139,194千円	6.6%
下水道事業	1,200,416千円	770千円	0.1%
合計	9,438,567千円	201,067千円	2.2%

歳入

会計名	決算額	対前年度比	
		増減額	増減率
国民健康保険	5,745,858千円	50,535千円	0.9%
後期高齢者医療	325,094千円	12,646千円	4.0%
介護保険	2,279,490千円	118,288千円	5.5%
下水道事業	1,218,265千円	946千円	0.1%
合計	9,568,707千円	182,415千円	1.9%

水道事業会計

収益的収入と支出

(消費税を含む)

収入済額	支出済額	収支差引額
574,412千円	464,851千円	109,561千円

※水道事業の経営運営を行うための経常収支

資本的収入と支出

(消費税を含む)

収入済額	支出済額	収支差引額
300,682千円	395,446千円	△94,764千円

※水道水を供給するための水道施設の新設や改良などの投資的経費

※差引不足額は、内部留保資金などで補てん。

水道事業の使命は、安全で良質な水を需要に応じて安定的に供給し、町民の健康で豊かな生活環境や、さまざまな経済活動の向上に寄与することです。

平成25年度は給水収益（水道料金）の減少により、収益的収入は前年度に比べ2.82%の減となりました。一方、支出では、水道施設の維持管理業務の委託料や減価償却費が増加したことにより、収益的支出の総額は前年度に比べ0.07%の増となりました。

このような状況から、平成25年度収支差引額は、前年から13.44%減の1億956万1千円を計上しました。

建設改良事業の主な内容としては、志田第一配水池で防食塗装などの補修工事と、緊急遮断弁の設置を行いました。また、中津配水池の耐震補強改修の実施設計や、中津地区で災害や事故により浄水が不足した際に戸倉浄水場の浄水を補給するための中津連絡管の第1期工事を行い、防災対策の強化を図りました。

このほか、配水管整備改良事業として、半原横根地区、角田箕輪上原地区、中津桜台地区などで延長1,031メートルの配水管の布設替工事を行うなど、水道施設の整備・改良を促進しました。

